

教点連ニュース 平成 22 年度 第 1 号 No. 12

平成 22 年 4 月 15 日

【平成 22 年度第 1 回総会・セミナーのご案内】

《総会》

日時：平成 22 年 6 月 5 日（土） 11:00～

場所：日本点字図書館 3 階多目的室

議題：下記理事会記録参照

* 総会にご欠席の会員の方は、同封の委任状を事務局にお送りください。

《セミナー》

日時：平成 22 年 6 月 5 日（土） 13:00～16:30（12:30 より受付）

場所：日本点字図書館 3 階多目的室

〒169-8586 新宿区高田馬場 1-23-4

テーマ：拡大教科書の製作と点字教科書の課題

総合司会：高橋秀治（副理事長）

内容：

12:30 受付

13:00 開会挨拶 田中徹二（理事長）

13:10 「教科書出版社からみた拡大教科書の現状」

渡辺能理夫氏（拡大教科書の普及充実のための調査研究小委員会委員長、
東京書籍取締役編集局次長）

13:50 休憩

14:00 「点字教科書作成時の図版の対応」

大内進氏（国立特別支援教育総合研究所 教育支援部長）

15:00 休憩

15:10 「点字教科書の現状」

平尾祐子氏（文部科学省初等中等教育局教科書課）

15:40 質疑応答・意見

16:10 まとめ 高橋秀治

16:30 閉会

参加費：無料

定員：80 名

お申し込み・お問い合わせ：日本点字図書館（担当・松本）

電話 03-3209-0241 FAX 03-3204-5641 E-mail matsumotom@nittento.or.jp

* セミナーにご出席の方は、必ず事前に、氏名、所属名、連絡先を明記の上、
ファックスかメールにてお申し込み下さい。

* なお、セミナーは定員になりしだい、締め切らせていただきます。

【点字教科書の普及に関する第5回意見交換会のご報告】

〔テキストデータの扱いなど議論〕

《扱いやすくなったテキストデータ》

3月25日に文部科学省で、点字教科書の普及に関する第5回意見交換会が開催されました。まず、教科書デジタルデータの提供方法については昨年2月から、委託先の富士ゼロックスにおいて提供が行われていますが、PDFファイルであること、テキストファイルの取り出しが可能であっても、図表やワクの入り込みによって、データの配置などに編集の手間が必要であるなどの問題がありました。このことについて、テキストデータの配置構成をルール化することで、できるだけそのまま使用可能なように配慮したことについて説明がありました。画一的な面はあるものの、図表中の文字データも含めて、おおむね納得のいく形式での配置が考慮されています。もちろん、実際には図中の文字がテキストデータに入っているだけで点訳にそのまま使用できるわけではありませんが、私たちの要望に応じての配慮であり、一定の評価はできると思います。また、これでよいかどうか、さらに改善を求めるかどうかについては、実際に自動点訳などに利用してみてもう検討が必要です。

なお、昨年4月に改正された「教科書デジタルデータの提供に関する実施要項」では、範囲は小中高で使用される教科用図書のすべての本文、図・写真、脚注、表紙など、教科用図書に掲載されているものすべての教科書デジタルデータで、PDFで十分利用できない図表などはJPEG形式でも提供することとされています。拡大教科用図書や点字教科用図書を製作する場合の手続きについては、文部科学省「教科書のデジタルデータの提供について」のサイトを参照して行ってください。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/kyoukasho/kakudai/1246126.htm

《点図サンプル集について》

国立特別支援教育総合研究所（特総研）の上席研究員大内進氏から、点図サンプル集の進捗状況について説明がありました。これは、盲学校用点字教科書については、編集委員会が設置され、図表を含んで編集処理がなされ、さらには小学部と中学部の点字教科書の編集資料も公開されています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/007.htm

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/tokubetu/material/008.htm

今回の資料は、盲学校用点字教科書が、原本教科書のどの部分がどのように編集されたかを具体的に示すサンプル集として特総研での発行を準備しているもので、一般校に学ぶ児童生徒の教科書の製作にも十分参考になる資料として期待されます。

議論の中では、一般校においては晴眼の児童・生徒を対象として授業が進むため、視覚障害の児童・生徒への適切な指導・配慮が十分行われているとは言い難い面もあることについて議論が沸騰しました。本来は、盲学校で行うとされているように、目の不自由な児童生徒に適した、触りやすさ・視力によらなくても理解しやすいことなどを十分に配慮した教材による教育が行われるべきなのですが、一般校においては晴眼者用の教科書のままで授業を進めざるを得

ないことが大きな問題として浮かび上がっています。これは、単に教科書をどう作るかという問題ではなく、障害児教育の基本的な課題であるのですが、この点が不十分な面を含んだまま、一般校で学ぶ児童・生徒用の点字教科書製作を担当する団体や個人に押しつけられていることの矛盾がますます鮮明になってきているといえるでしょう。

このほか、日本点字図書館理事長の田中徹二氏から、点字教科書の製作手順についての意見書が出されていましたが、このことについては時間的なこともあって議論はされませんでした。また、補助教材の点訳について、その扱いや点訳期間も配慮されない対応の遅れが問題になっていますが、初等中等局教育教科書課の担当ではないこともあって、未だに取り組みが十分できないまま推移しています。障害児も十分な教育を受ける権利があるという基本的人権にも関わることであり、早急な対応が必要と言えます。

(文責：加藤俊和)

* 拡大教科書の要項を別紙で同封いたします。

【平成 21 年度第 4 回理事会記録】

日時：平成 22 年 2 月 13 日（土）午後 1 時

場所：（社福）日本点字図書館 3 階会議室

出席：高橋（実）、高橋（秀）、奥野、池村、込山、鈴、長岡、野々村、福山、古谷、三上、田中

司会：奥野

議題：

（1）総会

日時：平成 22 年 6 月 5 日（土）午前 11 時

場所：（社福）日本点字図書館多目的室

議題：平成 21 年事業報告、平成 22 年度事業計画の承認

平成 21 年度決算、平成 22 年度予算の承認

セミナーの開催

点字教科書実態調査

点字教科書製作マニュアルの作成

（2）セミナーの開催

【春】日時：6 月 5 日（土）午後 1 時～4 時

場所：（社福）日本点字図書館多目的室

講演者：教科書製作会社、

大内進氏（特総研）、

文科省教科書課、

その他

【秋】日時：未定

場所：名古屋市内

講演者：未定

- (3) 点字教科書実態調査（会員向け）
- (4) 点字教科書意見交換会への参加
- (5) 文科省教科書課への要請行動
 - ・ 点訳データの管理を契約会社にさせる。
 - ・ 昨年実施の文科省教科書実態調査の詳細なデータの公開
 - ・ 教科書データをテキストデータで提供
 - ・ 都道府県、政令指定都市教育委員会に対し、点字教科書を必要とする児童
 - ・ 生徒の調査
- (6) 加藤理事の処遇
理事の継続就任を要請 → 個人会員になり理事継続を加藤氏承認

【教点連 ボランティア団体のご紹介】

ボランティアサークル「NPO法人熊本教科書点訳会」

代表理事 松崎 悟

当会は、代表の松崎悟が熊本県立盲学校の教諭として在職していた平成7年4月に熊盲点訳サークル“さくら”として発足しました。当時は、熊本盲学校から一般大学へ進学した、点字使用学生の要望に応えるために、熊本市民の協力を戴いて点訳教材を供給していました。平行して、毎年の長期休暇等を利用して、点訳者養成講座を開催して点訳スタッフを確保したものです。

代表が定年退職した平成20年4月に“さくら”を発展的解消をして、NPO法人天草青少年アカデミーを設立し、この法人が運営する事業として「熊本教科書点訳会」が教科書等の点訳・供給する態勢を整えました。現在でもまだ、関西の大学院生に点訳書を供給しています。私たちが支えた大学生等は十名を超えており、全国で先生等として活躍しています。

私たちが供給する点訳書の最大の特徴は、原本テキストと点字を並記して印刷することです。このことは、必ずしも点字の知識を十分に持ち合わせておられない、地域の小・中学校の先生方も、児童・生徒が読んでいる部分を印刷墨字を見て確認できる、との好評を頂いています。

法人化してからは、熊本から全国の中学生に英語の教科書が供給できるよう、研修に励んでいます。中学校の英語は3年間で段階的に2級点字英語を導入・完成するよう、文部科学省の「盲学校中学部点字教科書編集資料」に編集の基本方針が示されています。

当然、盲学校以外の地域の中学校で使用される英語教科書も、この基本方針に従って点訳しなければならないと、私たちは考えています。

初めて英語を学習する中学生ですから、次の課題があります。これらは、どこの出版社の教科書にも適用されなければなりません。

①点字英語の綴り、句読符、発音記号等の解説。

②2年生、3年生に渡って、6段階の2級点字英語を導入し、完成する。

私たちは、平成17年度から、熊本の地域の中学校に通う生徒さんに開隆堂出版社の

「Sunshine」を上記の方法で点訳して供給しました。現在点訳準備中の出版社は開隆堂、光村図書、三省堂の各教科書です。ご希望があれば、どこの出版社の英語教科書でも、その地域の点訳団体の点訳・供給に協力します。3社の英語教科書について、点訳依頼がありましたら、ぜひ当点訳会にお問い合わせください。

eメール: matsuzaki@npo-amakusa.jp

【事務局からのお知らせ】

<会費納入のお願い>

22年度会費を同封の振替用紙でご納入ください。

振込口座番号： 00180-7-262151 （個人・ポ団体=5,000円/施設2万円）

加入者名：全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

よろしく願いいたします。なお、総会の際にお支払いいただいても結構です。

発行日：平成22年4月15日

発行所：NPO法人全国視覚障害児童・生徒用教科書点訳連絡会

発行人：田中徹二

連絡先：（社福）日本点字図書館 担当：田中・松本

〒169-8586 新宿区高田馬場1-23-4

Tel：(03)3209-0241 Fax：(03)3204-5641

E-mail：matsumotom@nittento.or.jp

振込口座番号：0180-7-262151